

# サポート情報

たった2日でマスターするiPhoneアプリ開発集中講座  
Xcode 11 Swift 5 対応

本書の出版時は、Xcode11.0での動作確認を行っていますが、Xcode・Swift・iOSのバージョンアップに伴い、本書の記載内容やサンプルアプリに変更が必要なときがあります。変更が必要な箇所を、このサポート情報にてご連絡いたします。

**ご使用されている Xcode のバージョンをご確認の上で、このサポート情報を利用してください。**

また、正誤も合わせて記載させていただきます。

## ■変更内容：

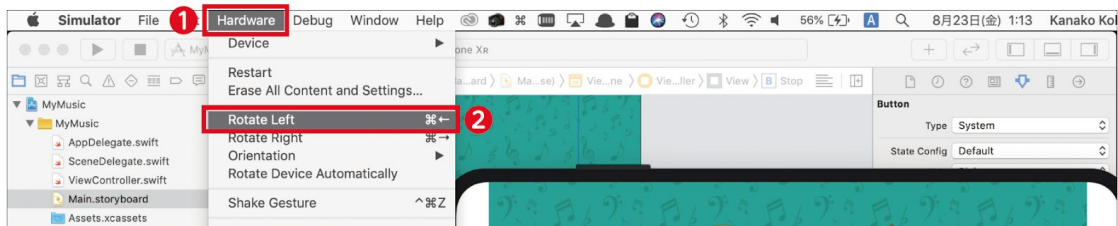
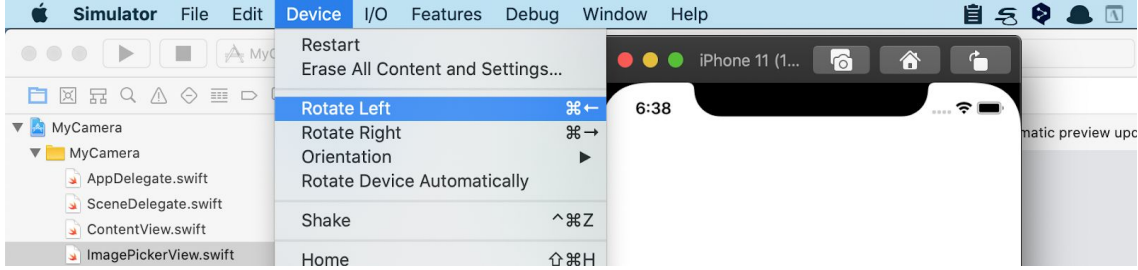
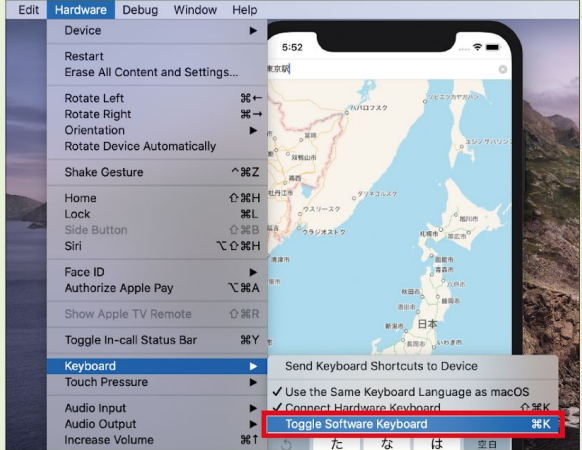
執筆時点の **Xcode11.0** では**正常な動作**でしたが、バージョンアップに伴い変更が必要な箇所があります。

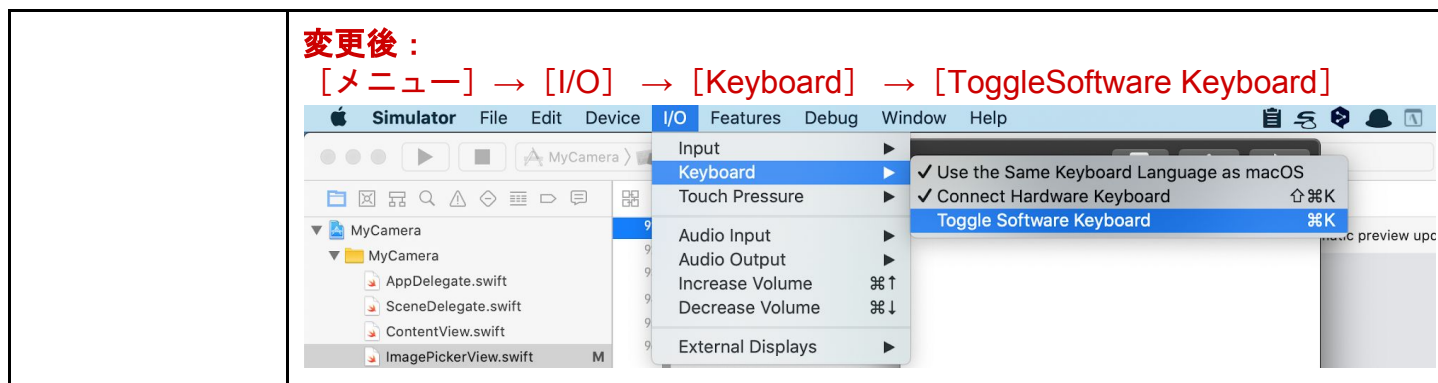
1. **Xcode11.1** より、AVAudioPlayer インスタンス時にエラーが発生するため、記述の変更が必要です。【対象バージョン：Xcode 11.1 以上】

ページ数 修正箇所	修正内容
P153 図：シンバルの音源 ファイルを設定イン スタンスの生成コー ド	<b>変更前：</b> // シンバル用のプレイヤーインスタンスを作成 var cymbalPlayer = AVAudioPlayer()  <b>変更後：</b> // シンバル用 <b>プレイヤーの変数</b> var cymbalPlayer: <b>AVAudioPlayer!</b>
P159 図：ギターの音源 ファイルを設定イン スタンスの生成コー ド	<b>変更前：</b> // ギター用のプレイヤーインスタンスを作成 var guitarPlayer = AVAudioPlayer()  <b>変更後：</b> // ギター用 <b>プレイヤーの変数</b> var guitarPlayer: <b>AVAudioPlayer!</b>
P161 図：バックミュー ジック音源ファイル 設定インスタンス設 定コード	<b>変更前：</b> // バックミュージック用のプレイヤーインスタンスを作成 var backmusicPlayer = AVAudioPlayer()  <b>変更後：</b> // バックミュージック用 <b>プレイヤーの変数</b> var backmusicPlayer: <b>AVAudioPlayer!</b>

<p>P166 図：共通プレイヤー再生処理</p>	<p><b>変更前：</b> fileprivate func soundPlayer(player: inout AVAudioPlayer, path: URL, count: Int)</p> <p><b>変更後：</b> fileprivate func soundPlayer(player: inout AVAudioPlayer!, path: URL, count: Int)</p>
-------------------------------	--

2. Xcode 11.4 より、シミュレータのメニューが変更されました。【対象バージョン：Xcode 11.4 以上】

ページ数 修正箇所	修正内容
<p>P146 図：シミュレータ表示角度変更画面</p>	<p><b>変更前：</b> ① [Hardware] → ② [Rotate Left] ▼ シミュレータ表示角度変更画面</p>  <p><b>変更後：</b> ① [Device] → ② [Rotate Left]</p> 
<p>P184 Tips</p>	<p><b>変更前：</b> [メニュー] → [Hardware] → [Keyboard] → [Toggle Software Keyboard]</p> <p>キーボードが画面に表示されないときは、次の設定を確認してください。</p> <p>シミュレータのキーボード設定は、[メニュー] → [Hardware] → [Keyboard] → [Toggle Software Keyboard] を選択することでキーボードが表示されます。もう1度選択すると、Mac のハードウェアキーボードを使う設定になります。</p> 



## ■正誤表：

本書において下記のとおり、誤りがございました。  
 内容を訂正すると共に、読者の皆様にご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。  
 恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。  
**赤字**が修正箇所になります。

### P13

【誤】	本書のサンプルアプリダウンロードと使い方 - 公式サポートサイト <a href="https://ticklecode.com/swiftbook2019/sample/">https://ticklecode.com/swiftbook2019/sample/</a>
【正】	本書のサンプルアプリダウンロードと使い方 - 公式サポートサイト <a href="https://ticklecode.com/sampledownload/">https://ticklecode.com/sampledownload/</a>

### P248

【誤】	viewDidLoad の中で、秒数を初期値として登録するコードを書いています。 UserDefaults クラスを利用して、「timer_value」というキーで10 秒の設定を保存しています。
【正】	viewDidLoad の中で、秒数を初期値として登録するコードを書いています。 UserDefaults クラスを利用して、「 <b>settingKey</b> 」というキーで10 秒の設定を保存しています。

### P254

【誤】	タイマーが実行中の場合は、「return」を実行することで、なにも処理せずに stopButtonAction の処理を終了します。
【正】	タイマーが実行中の場合は、「return」を実行することで、なにも処理せずに <b>startButtonAction</b> の処理を終了します。

## P254

<p>【誤】</p>	<p>▼ 指定可能な引数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="268 315 464 360">番号</th> <th data-bbox="464 315 627 360">引数名</th> <th data-bbox="627 315 1490 360">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="268 360 464 461">第一引数</td> <td data-bbox="464 360 627 461">ti</td> <td data-bbox="627 360 1490 461">タイマーを実行させる間隔を設定。単位は「秒」で、0.0001 秒 (0.1 ミリ秒) まで指定できるが、今回は「1.0 秒」を設定</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="627 461 1490 477">タイマー実行時の呼び出し先を指定。今回は timerInterval のメソッドを呼び出す。</td> </tr> </tbody> </table>	番号	引数名	内容	第一引数	ti	タイマーを実行させる間隔を設定。単位は「秒」で、0.0001 秒 (0.1 ミリ秒) まで指定できるが、今回は「1.0 秒」を設定	タイマー実行時の呼び出し先を指定。今回は timerInterval のメソッドを呼び出す。		
番号	引数名	内容								
第一引数	ti	タイマーを実行させる間隔を設定。単位は「秒」で、0.0001 秒 (0.1 ミリ秒) まで指定できるが、今回は「1.0 秒」を設定								
タイマー実行時の呼び出し先を指定。今回は timerInterval のメソッドを呼び出す。										
<p>【正】</p>	<p>引数名 ti の箇所が、<b>timerInterval</b> が正しい</p>									

## P382

<p>【誤】</p>	<pre> 10 11 class ViewController: UIViewController <b>UISearchBarDelegate</b> { 12 13     override func viewDidLoad() { 14         super.viewDidLoad() </pre> <p style="text-align: right; border: 1px solid red; padding: 2px;">追加</p>
<p>【正】</p>	<p>class ViewController: UIViewController , <b>UISearchBarDelegate</b> ← ピリオドが必要</p>

以上